

## 阪堺大橋耐震対策工事－2



A Y 1 橋台 (G2 側)



P Y 1 橋脚 (G1 側)

発注者 大阪市 建設局

工事内容 耐震対策工

支取替 8 基, 落橋防止装置 4 基, 変位制限装置 2 基  
ダンパー 4 基, 段差防止装置 4 基, 付帯工事 1 式

橋梁諸元 3 径間連続鋼床版箱桁橋 (橋長 : 223.96m 有効幅員 : 30.00m)

完工 平成 27 年 7 月

特徴

- ・阪堺大橋は、大阪市と堺市を結ぶ主要地方道大阪臨海線が大和川を渡河する箇所にかかる橋梁であり、地域防災計画において災害時の広域緊急交通路にも位置付けられており、約 53,000 台/日 (大型車混入率 34%) の車両が通行する非常に重要な橋梁である。本工事では、4 支点のうち大阪市側の 2 支点に耐震対策を実施した。
- ・地震により支承が損壊した場合でも緊急車両が通行できるよう、橋台部に段差防止装置を設置した。
- ・橋脚近傍の腹板に補強部材を箱桁内に搬入するためのマンホールを設置した。定期点検の際の通路としても利用できるよう、検査路及び橋脚上に転落防止柵を設置した。